

BUSINESS REPORT

第89期 報告書

2018.1.1 ▶ 2018.12.31

市光工業株式会社





当連結会計年度における我が国経済は、低金利環境による高水準の住宅着工などに支えられ緩やかな回復傾向を示しましたが、台風など自然災害によるマイナス影響があったほか、海外では米中の貿易戦争の影響による中国経済の減速などのリスクが懸念される状況となりました。世界経済においては、米国の雇用指標は引き続き良好な水準を維持した一方、中国では自動車販売台数が28年ぶりに減少するなど景気減速が顕在化しました。また、アセアンなどの新興国の景気は比較的堅調に推移いたしました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、日本の国内生産台数は完成検査問題などもありましたが、販売が好調な軽自動車が生産を下支えして前年同一期間比で微増となりました。アセアン市場では、輸出主導の景気回復や国内の買い替え需要が膨らむタイ、マハティール政権が6月に消費税を実質廃止し特需に沸いたマレーシア、小型車販売が好調なインドネシアのアセアン主要3カ国で生産が伸びており、当該3カ国の合計での自動車生産台数は前年同一期間比で増加しました。また、中国では国内販売台数の減少などから自動車生産台数は前年同一期間比で減少となりました。

このような環境のもと、当連結会計年度においては、新規立上げ製品や、LEDヘッドランプを中心とする高付加価値製品の販売が堅調に推移し、国内の売上高が増加しました。また、インドネシア子会社の売上高の増加および収益性の向上を主因として、アセアンの海外子会社の業績も堅調に推移したことにより、前年同一期間比で増収増益となりました。その結果、売上高は144,600百万円(前年同一期間比12.4%増)、営業利益は9,003百万円(前年同一期間比48.6%増)、経常利益については9,694百万円(前年同一期間比41.9%増)、また、追加的に繰延税金資産を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は9,756百万円(前年同一期間比58.1%増)と大幅な増加となりました。

また、配当につきましては、(1)内部留保を活用した研究開発、設備投資により企業価値の向上を図ること、および(2)株主の皆さまに対する利益還元の向上を図ること、これら(1)(2)の双方を達成することを経営の重要課題と考えております。

平成30年12月期の配当につきましては、中間配当は1株当たり2円50銭といたしましたが、期末配当につきましては、1株当たり4円50銭とし、年間配当金を7円とさせていただきます。

次期の見通し

平成31年12月期の業績予想につきましては、アセアンの生産は好調な見通しが続く一方で、国内は生産車種の変化などから減収が見込まれていますが、この見通しは中期経営計画に沿った内容であり、中期的な成長を図るための準備を進めることに尽力してまいります。

平成31年12月期の業績は、売上高は134,000百万円、営業利益は7,800百万円、経常利益は7,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5,000百万円を予想しております。

平成31年12月期の配当に関しましては、現段階では昨今の不透明な経済情勢をはじめとした不確定要因も多いことから、配当予想は控えさせていただきますが、引き続き配当性向の向上など株主の皆さまへの利益還元にも注力してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 Heiko Sauer (サワー ハイコー)



連結財務ハイライト

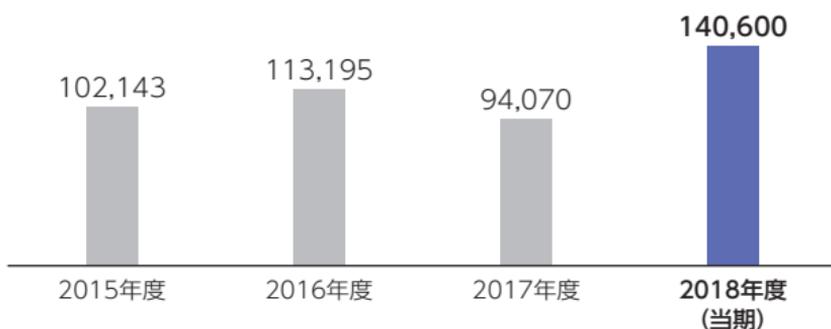
売上高	140,600百万円
営業利益	9,003百万円
経常利益	9,694百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	9,756百万円
配当	
期末配当	4円50銭

連結財務の推移

(注) 2017年度は4月1日から12月31日の9ヶ月間になっております。

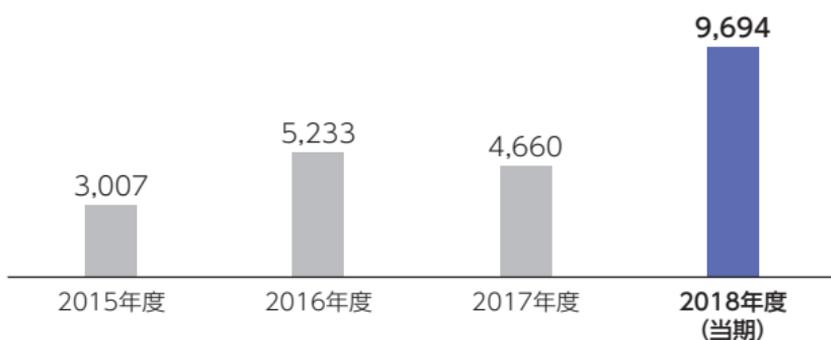
売上高

(単位：百万円)



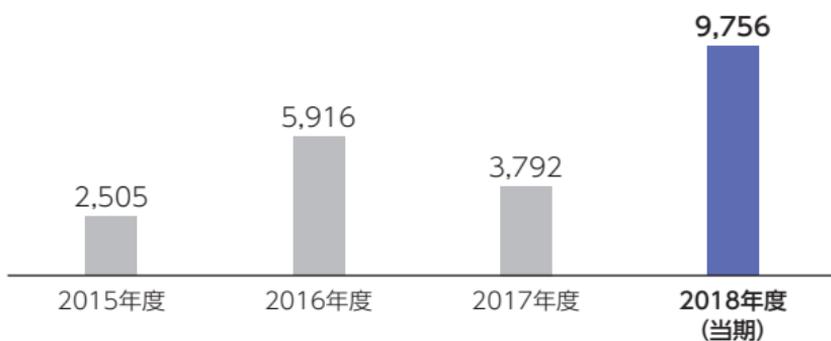
経常利益

(単位：百万円)



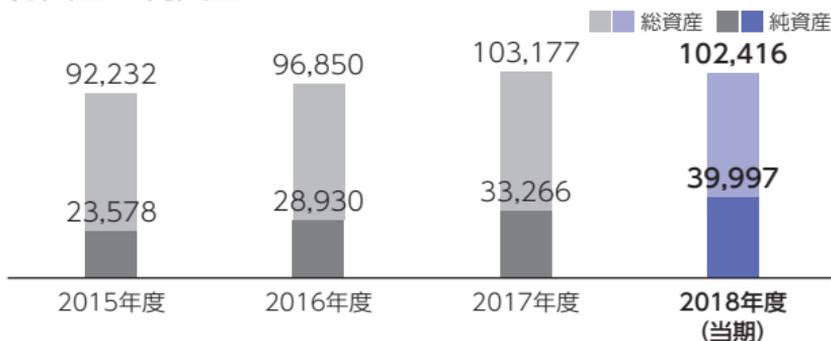
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



総資産・純資産

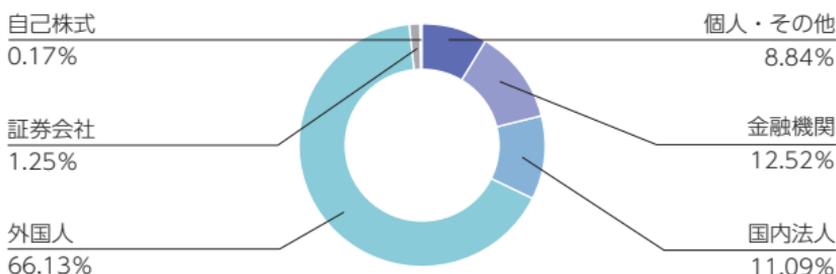
(単位：百万円)



株式の状況 (2018年12月31日現在)

発行済株式の総数	96,250,001株
発行可能株式総数	200,000,000株
株主数	6,710名

所有者別分布状況 (株式数)

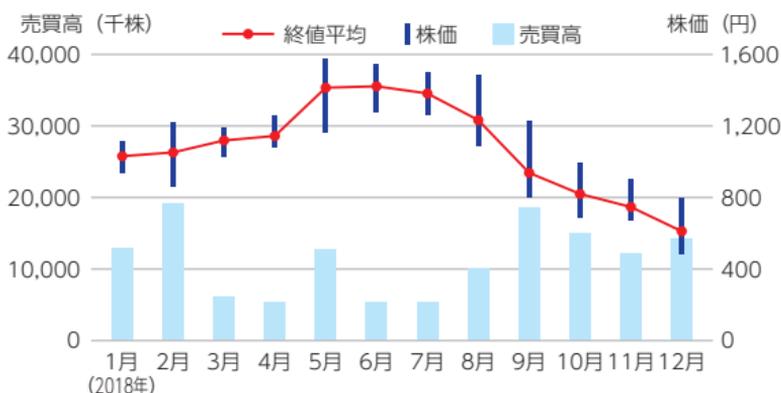


大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヴァレオ・パイエン	52,922 千株	55.07 %
トヨタ自動車株式会社	5,869	6.10
株式会社みずほ銀行	4,775	4.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,447	3.58
ダイハツ工業株式会社	2,712	2.82
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	2,300	2.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,627	1.69
日本生命保険相互会社	1,040	1.08
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUT	956	0.99
三協株式会社	930	0.96

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (163,749株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、3,447千株であります。

株価および株式売買高の推移



(要約) 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2018年12月31日	前連結会計年度 2017年12月31日
資産の部		
流動資産	45,866	47,229
固定資産	56,549	55,948
有形固定資産	39,048	39,662
無形固定資産	1,309	1,852
投資その他の資産	16,190	14,433
資産合計	102,416	103,177
負債の部		
流動負債	46,869	47,611
固定負債	15,548	22,299
負債合計	62,418	69,911
純資産の部		
株主資本	41,239	31,840
その他の包括利益累計額	△2,441	69
非支配株主持分	1,199	1,356
純資産合計	39,997	33,266
負債及び純資産合計	102,416	103,177

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2018年1月1日から 2018年12月31日まで	2017年4月1日から 2017年12月31日まで
売上高	140,600	94,070
売上原価	111,470	75,153
売上総利益	29,130	18,917
販売費及び一般管理費	20,127	14,945
営業利益	9,003	3,971
営業外収益	1,562	1,278
営業外費用	871	590
経常利益	9,694	4,660
特別利益	4	23
特別損失	267	128
税金等調整前当期純利益	9,431	4,555
法人税等	△360	704
当期純利益	9,791	3,850
非支配株主に帰属する当期純利益	35	58
親会社株主に帰属する当期純利益	9,756	3,792

(注) 1. 2017年度は4月1日から12月31日の9ヶ月間になっております。
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2018年1月1日から 2018年12月31日まで	2017年4月1日から 2017年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,630	9,029
投資活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△5,824	△4,745
財務活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△14,818	△6,545
現金及び現金同等物に係る換算差額 (△は減少)	△195	162
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	793	△2,099
現金及び現金同等物の期首残高	9,422	11,522
現金及び現金同等物の期末残高	10,215	9,422

(注) 1. 2017年度は4月1日から12月31日の9ヶ月間になっております。
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

世界初*¹の製品化、異形2眼BI-PES*²

トヨタ自動車 アルファード・ヴェルファイアに採用

*¹当社調べ *²Square 2-eyed Bi-Function Projector

「ICHIKOHにしか開発しえない製品だ。」と開発に携わったスタッフが胸を張る製品化を、世界に先駆けて達成しました。従来の単眼バイファンクション*³では、どうしてもレンズの上下寸法が大きくなり、先進的な薄形デザインのランプユニットには、対応ができませんでした。

ICHIKOHは、長年2眼バイファンクションプロジェクターの研究を続け、レンズサイズを小さくすることにより、上下寸法を単眼のバイファンクションに比べて約半分程度にすることができました。一方、レンズサイズが小さくなることで、光量や照射範囲の課題が発生しますが、技術的な挑戦により解決し、さらに丸型ではなく、異形（四角形）のレンズを用いることにより、難易度は上昇しましたが、これもチームの力を合わせて乗り越えることができました。

また、製造所においては、限られた準備期間の中で、部品点数が多く、複雑な構造の製品の組立を標準化し、作業員に習熟させ、安定した品質で納入するための努力の結果、高負荷生産を完遂することができました。

今後も、このプロジェクトで蓄積されたノウハウをさらに向上させ、生産方式を革新し、将来の製品に適応させていきます。ICHIKOHの挑戦は続きます。

*³バイファンクション（1つのモジュールで、複数の機能を備えること）



異形2眼BI-PESモジュール



ヴェルファイア ヘッドランプ

ASEANの中心拠点として成長する市光タイランド

日系カーメーカーとの関係強化に取り組む

タイのビーチリゾート、パタヤから車で約40分の距離にある、アマタシティ・ラヨン工業団地に市光タイランド (Ichikoh Industries Thailand) の拠点があり、ヘッドランプ、リアコンビネーションランプ、ミラー等の自動車部品の営業から開発・設計・製造まで一貫して行っています。

ASEAN市場で必要とされる低コストの自動車部品の製造・販売を中心に、2008年から操業しています。2013年3月に現在の最新鋭工場が生産稼働を始め、徐々に生産量を増加させてきました。特に2015年以降は、多品種の製品を受注し、稼働率が急激に高まりました。マネージャークラスも有能な現地出身者が定着し、高レベルな生産を支えています。

市光タイランドの採用する生産方式は、リーン生産方式と呼ばれ、プロセス管理を徹底し、効率化を図ることで、従来の生産方式と同等以上の品質を実現しながらも作業時間や在庫量が大幅に削減できる生産方式です。見込生産をせず、中間在庫を極力抱えないようにし、少量多品種に対しても柔軟に対応でき、ASEAN市場のニーズに合致しています。現工場の稼働時からこの生産方式を採用し、ラインのレイアウトもこれに合わせてものとなっています。

最新の設備と、教育を受けた現地人材の力で、日系カーメーカーとの取引を拡大し、ICHIKOH本体と競い合うグループ企業の一員へ飛躍していきます。



市光タイランド
所在地 タイ王国ラヨン県
設立 2008年8月
社員数 431名



テクニカルセンター



生産ライン

会社概要 (2018年12月31日現在)

商号	市光工業株式会社
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,972,054,953円
従業員数	連結 3,870名 (2,031名) 単体 1,889名 (1,020名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に年間の平均人員を外数で記載しています。

本店	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地 TEL 0463 (96) 1451 FAX 0463 (96) 2080
----	---

事業所

本社・テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274 (23) 2121
中部支店 (名古屋テクニカルセンター)	〒468-0011 愛知県名古屋市中区平針1-117 TEL 052 (848) 6002
東京営業 (アフターマーケット部)	〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-19 TEL 0463 (43) 7225
太田営業所	〒373-0851 群馬県太田市飯田町1245-1 TEL 0463 (43) 7210
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-16-3 TEL 0463 (43) 7242
札幌営業 (アフターマーケット部)	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西4-2-2 TEL 011 (232) 0654

(注) 札幌営業は、2019年3月1日にて閉鎖し、東京営業と統合いたしました。

取締役および監査役 (2019年3月26日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	サワー ハイコー
取締役	宮下和之
取締役	中野秀男
取締役	白土秀樹
取締役	ヴィラット クリストフ
取締役	ティヴォアヨン ブルーノ
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
社外取締役	青松英男
社外取締役	デルマス ベルナール
常勤監査役	橋本寿来
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。

<http://www.ichikoh.com/>



ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

